

寒さを吹き飛ばせ!!

第31回さむさむまつり



第31回さむさむまつりが2月7日、公民館前駐車場で開かれました。

綱引き大会で、熱戦を展開したほか、雪のステージで繰り広げられたキャラクターショーや、雪の滑り台に大勢の子どもたちが歓声を上げていました。

この日は、終日雪が降る天候でしたが、子どもたちは元気に遊んだほか、温かいうどんなどを食べ、まつりを楽しんでいました。

訓子府太鼓同好会の演奏で幕開け(右)、雪の滑り台で子どもたちが歓声を上げていました(左)



雪のステージで繰り広げられたキャラクターショー、HIPHOPダンス、もちまき(左から)



綱引き大会優勝チーム

☆ジュニア部門
☆レディース部門
☆オープン部門

新撰組
福ちゃんず
JAきたみらい青年部訓子府支部



さむさむまつりでフリーマーケットポップコーンなどを販売

訓子府小学校4年生38人が、2月7日のさむさむまつりに合わせ、公民館でフリーマーケットを開きました。

社会学習の一つとして、自分たちが種から育て製品にしたポップコーンをはじめ、いろいろな製品を来場者に販売していました。

JAきたみらいから2月2日、給食センターにじゃがいも230kg、玉ねぎ240kgの寄贈がありました。

地域の農作物を身近に感じてもらう食育の一環として寄贈されたもので、この季節のじゃがいもは糖度が増し、「旬じゃが」と呼ばれ、おいしいそうです。

今回寄贈していただいたじゃがいもと玉ねぎは、給食のメニュー「焼きポテト」にして、子どもたちがおいしくいただきました。



JAきたみらいから

じゃがいもなど

「寄贈ありがとうございます」

「コメコムかるた新聞」が全国3位



居小の3年生～6年生 稲作体験をカルタの新聞に

居武士小学校の3年生から6年生までの26人が作成した壁新聞「コメコムかるた新聞」が「子どもファーム・ネット活動コンクール」で全国農業協同組合中央会会長賞(全国3位)を受賞しました。昨年の「養蜂新聞」も同会長賞を受賞しており、2年連続の快挙となりました。

居小では、総合的な学習の時間で、地域の協力を得て、さまざまな体験学習などに取り組んでいます。今回の新聞は、米や小麦の学習をカルタで紹介したものです。

「稲刈りで指を切った」「腰が痛くなった」など体験した児童でなければ表せないカルタばかりで、その点がコンクールでも評価されました。

北海道代表として全国交流会(1月30日、東京)には、6人が出席しましたが「入賞するとは思わなかった」と2年連続の受賞に驚いていました。

訓小児童7人が アルペンスキー全道大会へ

訓子府小学校5人の児童が、3月7日にキロロリゾート(後志支庁赤井川村)で開かれる「第35回スポーツハウスカップ争奪全道ジュニアアルペン決勝大会」(種目=ジャイアントスラローム)に出場します。

7人は、渡邊来智くん(訓小1年)、堰代大貴くん(訓小1年)、渡邊唯翔くん(訓小2年)、伊東ありすさん(訓小4年)、渡邊明哉くん(訓小4年)、江部成彪くん(訓小5年)、堰代ゆきのさん(訓小5年)で、留辺蘂スポーツ少年団や北見市端野町のレーシングチームに所属し、練習に励んでいます。

7人ともに、全道大会までさらに練習を重ね、「普段の練習の成果を全道でも出し切ってきます」と話していました。



「全道でもがんばる」と話す前列左から堰代大貴くん、渡邊来智くん、渡邊唯翔くん、渡邊明哉くん、後列左から伊東ありすさん、江部成彪くん、堰代ゆきのさん